

日本ホーリネス教団 熊本地震災害対策本部
【第7報】熊本教会の状況(5月14日現在) 他に関する件

1. 熊本教会の状況について

5月7日に、キリスト者の建築士の方が教会堂を詳しく検査くださいました。壁、瓦、壁紙、柱の補強や修理が必要とのことですが、礼拝堂を使用しても大丈夫だろうとのことで、5月8日に礼拝式を再開いたしました。余震が続いていますし、建築会社も手一杯のようなので、修理についてはまず複数の業者から見積を出していただきます。

また、吉田文人牧師も5月9日に牧師館に戻りました。牧師館の片付けも、少しずつ進めています。

2. 教会員の状況について

教会員1名がまだ避難所におられますが、家の片付けが終わりましたら、ご自宅に戻ることができそうとのこと。避難されているその他の方々もご自宅に戻られたり、引越先が決まったりされ、だいぶ落ち着いてきました。

3. ボランティア活動について

すでにマスコミ等でも報じられているとおり、ゴールデンウィークが終わってから、ボランティアに参加される方が急激に減っています。「九州キリスト災害支援センター」(災害支援活動を行っている九州の教会による支援ネットワーク、略称「九キ災」)のボランティア活動も、ゴールデンウィーク中は200名近くの方が参加されたそうですが、現在は20~30名ほどしかいないと聞いています。

教団災害対策本部も「九キ災」に協力する形で、ボランティア活動を進めていきます。先週お知らせしましてから、何名かの方が登録してくださいました。いよいよ来週(5月16日~)から現地に派遣いたします。ボランティア活動に関する詳しいことは「第6報」をご覧ください、ぜひこの働きに加わってくださるようお願いいたします。

4. 災害対策本部からのお知らせ

- a. 5月13日に、第2回災害対策本部を東京中央教会で行いました。現地の視察報告を踏まえて、今後の対策本部としての活動について確認をいたしました。
- b. 現地への直接連絡は、引き続きご遠慮くださるようお願いいたします。何かありましたら、dengon@jhc.or.jp (でんごん@jhc.or.jp) にお問い合わせください。
- c. 「災害支援献金」のご協力もよろしくお願いいたします。会計処理の都合上、振替用紙(赤)のご利用をお願いいたします。領収書は原則として送金の際の払込受領書をもって代えさせていただきますが、領収書の必要な方は、通信欄にその旨をお書きください。

▽ 送金方法 郵便振替 00190-4-545635

「日本ホーリネス教団緊急支援対策室」

▽ (第1次) 目標額 500万円 ▽ (第1次) 締め切り 6月30日(木)